

# 公害防止協定さらに2工場と

## 大興製紙と大昭和富士工場

市は、既存の公害を防止するため大手14社15工場と「公害防止協定」を結ぶ作業をすすめ、すでに三興製紙、大昭和製紙（鈴川、吉永工場）、ポリプラスチック、本州製紙と協定を結びましたが、さらに7月25日、大興製紙、大昭和富士工場とも協定を結びました。

協定の内容は次のとおりです。

### 大興製紙

イオウ酸化物の減少をはかるため、現在使用しているイオウ分2.8%から3.0%の重油を45年1月から2.5%以下のものにします。46年以降も低イオウ化に努力させます。

施設の改善では、公害防止対策を考慮したボイラーを新設します。現在あるボイラーは廃止します。

汚染物質の拡散希釈は、45%の煙突は廃止し、60%の煙突は回収専用を使用するとともに、新設ボイラーの排ガスは新しくつくる85%煙突で大気拡散をはかります。新しい煙突による拡散効果は0.015 P P m になります。

ぼうしろう、粉じんの飛散防止をはかるため第2集じん装置を設置させます。

臭気対策としては、連続蒸解がまを設置します。騒音対策はサイレンサーを新

しく設けて防止をはからせます。緊急時対策としては低イオウ備蓄タンクを設置します。

工事は7月から着手し、ボイラー、煙突、サイレンサーは45年7月に、燃料備蓄タンクは44年10月に、集じん装置は45年12月にそれぞれ完成することになっています。この工費は約15億円です。なお水質汚漏防止は第2次計画を策定して協定を結びます。

### 大昭和製紙富士工場

亜硫酸ガス対策については、7月からすでに2.5%以下の燃焼用重油を確保していますが、46年度以降も市の実施するイオウ分の低減化に協力させます。

拡散希釈は、現在の30%煙突を全面的に廃止し、85%の主煙突に集合し、排煙させていきます。このため、回収ボイラーの誘引ファンを増設します。これにより地上濃度は0.0168 P P m になります。ぼうしろう、粉じんの飛散防止は、第2次集じん装置を取り付けるとともに、デ

イゾルバーミストの捕集器を取り付けさせます。臭気対策は、ブロー排ガスの洗浄塔を新しく設置させます。騒音対策としてはボイラーに押込通風機をつけるとともに

デゾルバー爆発音防止をはかつていきます。

工事は、騒音対策は44年9月に、臭気対策は44年10月に、デゾルバーミスト捕集器は45年5月に、誘引ファンは45年8月に、集じん装置は45年12月にそれぞれ完成することになっています。この工費は約1億円です。なお、水質汚漏防止は第2次計画をつくり協定します。

## 冬に高い濃度が 現われる

### …亜硫酸ガス測定結果…

富士市の大気汚染状況はどのようになっているか。昨年6月から市内7カ所で亜硫酸ガスの濃度測定を行なっていますが、このほどその結果がでました。＝下表＝

このうち、環境基準と比較できるまる1年間のデータがでたのは富士事務所だけですが、その結果は測定日数377日（環境基準365日）、総時間数7,497（同8760）、1時間値の期間平均0.051 P P m（同0.05 P P m）1時間値が0.2 P P m 以下の時間数99.8%（同99%）1日平均が0.05 P P m 以下の日数43.2%（同70%）、1時間値が0.01 P P m 以下の時間数92.1%（同88%）でした。なお、全体としては11月ころから2月ころにかけて濃い汚染度があらわれています。

## 亜硫酸ガス自動記録計による測定結果

測定場所	測定期間	測定日数	総時間数	1時間値の期間平均 (P P m)	0.2 P P m 以下の時間数	同左%	1日平均が0.05 P P m 以下の日数	同左%	1時間値が0.01 P P m 以下の時間数	同左%
富士事務所	43.6~44.6	377	7,497	0.051	7,482	99.8	163	43.2	6,908	92.1
第三中学校	43.8~44.6	306	5,713	0.055	5,629	98.5	138	45.1	5,143	90.0
勤労青少年会館	43.8~44.6	308	5,760	0.044	5,749	99.8	213	69.2	5,514	95.7
鷹岡事務所	43.8~44.6	312	5,878	0.056	5,870	99.9	101	32.4	5,395	91.8
大淵中学校	43.8~44.6	255	4,643	0.034	4,643	100	242	94.5	4,586	98.8
富士保健所	43.9~44.6	281	5,008	0.072	4,938	98.6	70	24.9	3,722	74.3
元吉原中学校	43.9~44.6	234	4,266	0.088	3,978	93.5	48	20.5	2,550	59.8
環境基準	1年間	365日	8,760	0.05 P P m		99%以上		70%以上		88%以上